

# しまねの自然

vol. 44

平成27年3月



たたくまゑの  
立久恵峽 (出雲市)



はまだ かいがん  
浜田海岸 (浜田市)



しんどう きたやま  
宗道湖北山 (松江市・出雲市)



せんぢゆう けい  
千丈溪 (江津市・邑南町)



しみず がつざん  
清水月山 (安来市)

**特集! 県立自然公園が  
指定50周年を迎えました!!**



立久恵峽  
県立自然公園

宗道湖北山  
県立自然公園

清水月山  
県立自然公園

鬼の舌震  
県立自然公園

50周年を迎えた自然公園を  
オレンジで着色しています。

千丈溪  
県立自然公園

浜田海岸  
県立自然公園

蟠竜湖  
県立自然公園

青野山  
県立自然公園

竜頭八重滝  
県立自然公園

断魚溪・観音滝  
県立自然公園

江の川水系  
県立自然公園



おに したふるい  
鬼の舌震 (南出雲町)



ばんりゅうこ  
蟠竜湖 (益田市)



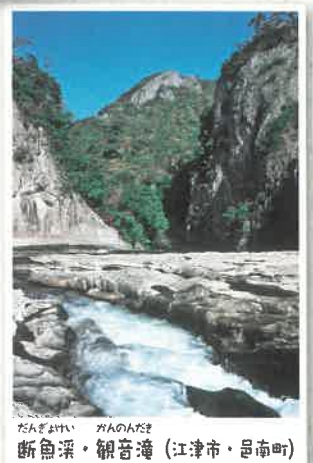
りゅうず ちやうやま  
竜頭八重滝 (雲南市)



あおの やま  
青野山 (津和野町)



さがみ けいすい  
江川水系 (美郷町・邑南町)



だんぎょ けいすい かんおんのたき  
断魚溪・観音滝 (江津市・邑南町)



# 特集! 県立自然公園が 指定50周年を迎えました

県内では、優れた自然の風景地を保護・活用していくため、国立・国定公園及び県立自然公園の3種類の自然公園が指定されています。現在ある11地域の県立自然公園のうち、9地域は昭和39年に指定され、50周年を迎えました。

このうち、宍道湖北山県立自然公園と清水月山県立自然公園をご紹介します。

## 松江市から 宍道湖北山県立自然公園のご紹介

宍道湖北山県立自然公園は、日本で7番目の大きさを誇る宍道湖、その北側を東西に走る島根半島北山山系の嵩山、枕木山、朝日山などからなっています。

宍道湖は、国際文化観光都市「松江」を象徴し、四季折々に美しさを醸し出します。特に湖面に落ちる夕日の美しさが格別です。小泉八雲も絶賛したといわれています。

宍道湖の北側を東西に走る島根半島の北山山系からは、眼下に島根半島の海岸美、遠くに中海・宍道湖さらには大山を一望することができます。また、天気の良い日には隠岐諸島を見ることもできます。



朝日山からの眺望

枕木山—三坂山—澄水山—大平山、嵩山、朝日山は絶好のハイキングコースとしても親しまれており、枕木山頂にある華蔵寺に安置される薬師如来座像（木造）は、国の重要文化財に指定されており、参道の間地点にある石造の不動尊像は圧巻。

嵩山のふもとにある熊井の滝は、高さ2メートルほどの比較的小さな滝ですが、水はかけられることなく、苔むした岩との景観は風情にあふれ、地元では、弘法大使の杖により水が湧き出て滝となったと伝えられています。

朝日寺は朝日山の山頂付近にある真言宗大覚寺派の古刹で、出雲観音霊場第29条番札所として、木々がうっそうとしげる閑寂な雰囲気が漂っています。



宍道湖

## 安来市から 「四季折々の清水寺」

1400年の歴史を誇る厄払いのお寺として有名な清水寺。風情ある石畳の参道を通して、鬱蒼と茂る杉林を登ると瑞光山の山腹に清水寺はあり、5万坪余りの境内には、山陰唯一の三重塔など、県や国の重要文化財も数多く、荘厳な空気に包まれています。

清水寺を中心として県立自然公園の景勝地としても有名で、四季折々の魅力があります。

春にはソメイヨシノが三重塔を背景に咲き、豊かな緑の放つさわやかな空気に心が軽くなります。

初夏にかけては、文化庁の「歴史の道百選」に選定される「広瀬清水街道」を歩いて、展望台にむかって歩くハイキングは、気持ちよく汗をかけます。展望台からの眺めは、見晴らしも良く、天気の良い日には中海から大山まで一望できます。



秋には、清水寺境内を灯りで演出する「灯参道」

が開催され、根本堂や千年杉などをライトアップし、参道には行灯が並べられ、幻想的な空間に包まれます。また、境内の紅葉は絶景で、杉林の緑、銀杏の黄、モミジの赤のコントラストが美しく魅了されます。四季折々の自然美で訪れる人をやすらかな表情にさせる清水寺へお越しください。



## 三瓶自然館春の企画展「星のある風景写真展」

この季節特有のうっすらと霞んだ空が、夜のとばりに包まれる頃。おぼろな月影が薄墨色の山の端に姿を現せば、おのずと春宵一刻値千金の言葉も浮かんできます。

月や星は、私たちが住む地球から遠く離れた存在であるため、たとえばアメリカやヨーロッパに行こうとも、月は月、星は星です。しかし、それを見ている私たちは、地上の風景の中にいます。朧月が桜の向こうに見え隠れする景色を乙と感じるように、山の、海の、住み慣れた街の、その上に広がる月や星々を、風景と一緒に感じ取っているのではないのでしょうか。

星空と、そんな夜の景色と一緒に写し込んだ天体写真を星景写真と呼んでおり、近年人気が高まってきました。薄明かりに照らされた山脈を覆う天の川、光あふれる都会の空でけなげにきらめく星座。星景写真は、そこにある自然や人々の生活が見えてくる芸術作品とも言えます。



「夢の縁へ」大西浩次



「明石海峡大橋」東山正宜

会期 3月21日(土)―5月24日(日)

## 隠岐世界ジオパーク～世界認定からの再出発～

### 世界認定後の取り組み

隠岐は平成25年9月9日の世界認定という歓喜の瞬間から一年半が過ぎました。私たち隠岐世界ジオパーク推進協議会は世界認定ということを目として活動してきた訳ではなく、世界認定という冠を活かした隠岐地域の活性化を最終的な目的として活動を行っています。そういった面では、一昨年の世界認定によってやっとスタート地点に立てることが出来たと考えています。

世界認定後の取り組みとしては、隠岐に住む方に改めて隠岐の魅力や価値を知ってもらうとともに島外からの誘客に向けた活動を行ってきました。島民向けの活動としては、公民館や小中高等学校におけるジオパーク学習会の開催、特に隠岐高校では3年生の選択科目として高校の設定科目である「隠岐ジオパーク探求」の授業が平成26年4月から始まり、約1年間を通じて隠岐の魅力と価値について学んでいます。また、誘客活動としては昨年5月に松江市にある「くにびきメッセ」で「隠岐世界

ジオパークフェスタ」と銘打ったイベントを開催し、開場前から行列ができるほどの反響があり最終的には4,000人以上の方に来ていただきました。その他にも、東京や広島で隠岐の魅力を紹介する「隠岐世界ジオパーク講座」を開催して積極的な誘客活動に取り組んでいます。

しかしながら、ジオパークという言葉は一般の方には分かりにくく、(ジオパーク) = (地質、専門分野) = (難しい) という図式によって、世界認定後、行政視察の回数や人数は増加していますが一般の観光客の大幅な増加には至っていない状況となっています。

### 今後の取り組み

このような状況に対して、隠岐世界ジオパーク推進協議会では隠岐の魅力を知りやすく実感できる仕組み作りを再構築し、来島者の満足度を向上させるとともに交流人口の拡大について、具体的な目標数値を掲げて取り組んで行くこととしています。

満足度の向上については、総合拠点機能の整備、動画による映像の提供や隠岐ジオパーク認定ガイド制度などの策定を行うこととしており、交流人口の拡大では、ホームページ上におけるバーチャルジオツアーの配信と動画投稿機能の充実、くにびきメッセでの継続的な「隠岐世界ジオパークフェスタ」の開催や島外での定期講座の開催を予定しています。

世界ジオパーク認定から一年半、推進体制を更に充実させ新たな隠岐世界ジオパークの取り組みが始まります。



認定1周年記念シンポジウム



ジオパークフェスタテーブルカット



# 自然観察会を開催しました

## ● 新緑の吾妻山・比婆山連峰自然観察会登山（奥出雲町）

新緑がまぶしい初夏の森。心地よい風が吹く6月15日、吾妻山山開きにあわせ、吾妻山・比婆山連峰自然観察会登山を行いました。

自然公園指導員の佐佐木幸雄氏に木々の説明を受け、自然観察をしながらゆっくり上がりました。木や草花の話を楽しみながら、山に登らないと見られない植物もあれば「この草花は私たちの家の周りにもありますよ。」と言われ、身近にあっても気にしていなければ目に入らないものですね。とても新鮮な気がしました。

休憩をしながら、大膳原、烏帽子山頂を目指しました。天気が良く汗ばんだ体も山頂の風に吹かれ、とてもさわやかに感じました。

烏帽子山頂で昼食をとり出発すると、程なく比婆山御陵に着きました。壮大なブナ林が広がる一帯に樹齢千年を超えるイチイの木々に囲まれ、伊邪那美命の陵墓とされる苔むした巨石が横たわっていました。その先には「太鼓岩」・「産子の岩戸」と呼ばれ

る岩があり、伝説の地として伝えられておりとても神秘的なところでした。

自然と歴史にふれ、心身ともに癒された一日でした。



## ● 平成26年安蔵寺山ブナ林自然観察会（津和野町）

平成26年6月1日に安蔵寺山ブナ林自然観察会が開催されました。

ブナは、保水力がすごい。大きなブナ1本で田んぼ1枚分の保水力があると言われ、午前中に幹に聴診器を当てると「ゴー」という水を吸い上げる音を聞くことができます。ブナは北海道から日本海側の雪が多く降る地域に森が分布しており、観察会が開かれた安蔵寺山はブナの巨木が残る南の端にあたります。四国・九州にも自生はしていますが日本海側の山地ほどではないようです。

水に縁があるブナ、新しい葉のうす緑はなんとも言えない魅力です。雨がついてくるのは仕方ないことかもしれません。

観察会の当日、天気予報ではかなりの雨量が予想され、近年の豪雨災害の影響もあり参加申込者の辞退が続きましたが、最終的には26人の参加者で開催することができました。

多くの外部講師の方々に御協力頂き開催してきた観察会、にちはら自然の会をはじめ町内には8名の自然観察指導員がいることから、地元の自然グループの方々に頑張ってとの声援を町外から受けました。そのため、これまで外部講師で行い地元のスタッフはサポートに当たっていた観察会を、外部講師1名プラス地元の自然観察指導員の皆さんに頑張っていただきました。植物の特徴や観察ポイントなどを観察する植物班を2班、安蔵寺山頂を目指す山頂班を1班編成しました。野鳥の観察を行う野鳥班について当初1班編成する予定でしたが、講師を確保することができなかつたため編成できず、ご迷惑をおかけしてしまいました。予報がはずれ青空が時折見られましたが、山頂班も眺望を楽しむまではいきませんでした。参加者の皆さんは安蔵寺山の美しい新緑、ブナの森を堪能していただけたと思います。





## ・コウヤマキ自生林観察会 (吉賀町)

8月31日(日)、コウヤマキ観察会を、佐藤仁志(さとうひとし)氏、田中幾太郎(たなかいくたろう)氏、戸山敬子(とやまけいこ)氏、三島好信(みしまよしのぶ)氏の4名の講師を迎え、有飯たんぼの会を中心に地元住民の協力のもと開催しました。

70名の参加者は、4グループに分かれ講師の説明とともに自生林内を散策しました。この観察会は、コウヤマキ自生林の魅力だけでなく、多彩な講師陣の顔ぶれが話題の一つです。自然に関することはもちろん、生活と自然とが深く結びついていた頃の民俗や風習などまで飛び出す話題豊富な田中氏をはじめとして講師の説明が特徴的で面白いことで有名です。

散策後は、美しい立ち姿のコウヤマキ群を眺めながら地元グループの作ったおにぎりを食べ、全員で「ふるさと」を合唱し解散となりました。



## ・西ノ島町自然観察会～隠岐世界ジオパークを楽しむ～(西ノ島町)

西ノ島町立中央公民館では、毎年町内及び島前地区区内での自然観察会を開催しています。隠岐の代表的な観光スポットである国賀海岸や航海安全の神様を祀る焼火山などをはじめ、山や海岸の動植物を愛でながら歩きます。

今年度は4月26日に、西ノ島町の第二峰(435m)・高崎山の自然観察会を行いました。高崎山は、登山道のそばに南方系、北方系、大陸系植物が入り混じる希少植物の宝庫です。ネコノメソウ・ハルリンドウ・クルマバソウ・ヒトリシズカ・ホタルカズラなど、他の地区では見ることのできない、珍しい植物が参加者を迎えてくれました。また、山頂付近には、知夫里島まで見渡せる絶壁があり、参加者を楽しませてくれました。

さらに、10月18日には、国賀海岸を巡る自然観察会を行いました。日本海の荒波によって形づくられた雄大な通天橋を見上げながらダルマガクを観察しました。参加者の中には、浅瀬にいるタコやサザ

エを見つけたりする人もいて、秋の自然を満喫している様子でした。

平成25年9月に世界認定を受けた隠岐世界ジオパークへぜひお越しください。



# 生物多様性って何？

【生物多様性】という言葉を見たり、聞いたりしたことがあるでしょうか？

【生物多様性】ってなんだか難しそう、という印象を持つ方が多いかもしれません。

生物多様性とは、生きものたちが豊かな個性をもっていること、そして生きものがつながりあって生きていることです。私たちは、様々な生きものといっしょに暮らしているということでもあります。

## 生物多様性の恵みー生態系サービス

私たちの暮らしは、多様な生きものが関わりあう生態系からの恵みー生態系サービスによって支えられています。

例えば、私たちが生きていくのに欠かせない酸素は誰が作ってくれるのでしょうか？森林などの植物の光合成によって作り出されているということはよくご存知のはずです。きれいな水を使うことができるのは誰のおかげでしょうか？森林の水源としての役割や浄化作用などのおかげです。

我々が良い農作物を手に入れることができるのは、昆虫や目に見えない生きものたちの働きによって、豊かな土壌やきれいな水が作り出されているからです。魚介類が豊富にあるのは、海、川、宍道湖などの汽水湖や干潟などの多様な自然があるからです。

また、豊かで多様な自然環境が私たちの文化に大きな影響を与えており、地域の自然や気候風土に合わせた文化が発達してきました。そして、豊かな森林は大雨

などによる被害を減らし、サンゴ礁は高波から土地を守ってくれます。

私たちは、このような生物多様性の恵みー生態系サービスの中で生活し、その恵みを確保するために森林の手入れや海や川を汚さないように自然を大切にしてきました。



三瓶北の原 姫逃池

## 大絶滅時代

いま、生物多様性は様々な危機を迎えているといわれます。

現代は「第6の大量絶滅時代」と言われることがあります。



島根県指定希少野生動物植物 オニバス

ます。ここ100年間の生きものの絶滅のスピードは、それまでの1000倍と言われています。

開発や乱獲などの人の活動、里地里山の荒廃などの人と自然との関わり方の変化、人によって持ち込まれた外来種や化学物質による影響などが大きな原因といわれます。私たちは、とても長い間多くの生きものと共生してきましたが、最近の私たちの活動によって生物多様性が失われようとしています。

生物多様性が失われるということは、生態系サービスも失われるということです。そうすると、私たちの暮らしは成り立ちません。

絶滅のおそれのある生きものを守り、それらが暮らしている豊かな生態系を維持していくことが求められています。



## 三瓶登山道修繕工事について

現在、県で管理している男三瓶山頂まで直接登るルートは、姫逃池コース、名号コースの2ルートがあります。これらの登山道は主に平成元年から4年頃に整備し必要に応じて修繕を重ねてきましたが、この度本格的な改修工事を実施しました。

改修工事内容は、老朽化した木製階段の撤去、再設置などが主要なものであり、一見ただけでは、改修箇所が分かりづらいですが、安全性は確実に向上しています。但し、地形や植生の状況により、構造物の設置が難しい箇所もありますので、通行の際には引き続きご留意ください。

また、男三瓶頂上までの残り距離を示した距離標を100m毎に設置しました。登山ペース配分のご参考にしてください。



登山道木製階段設置

進入禁止エリア  
ロープ張り

距離標設置

## 三瓶自然館駐車場整備工事について

三瓶自然館サヒメル本館横の駐車場は、平成3年度に整備され約23年が経過し舗装面の均平性が悪くなり、水溜による利用者へ悪影響の軽減や除雪作業時の不便性を解消



アスル合材を用いた舗装（サヒメル第一駐車場）

するために、再舗装工事を実施しました。

この再舗装工事で使用するアスファルト合材は、一般的な工場で製造するものではなく、舗装修繕工事などで発生したアスファルト殻を材料として使用する「アスル合材」を現地にて製造し使用しています。この「アスル合材」は鳥根県が認定するリサイクル製品に認定されており、廃棄物の発生抑制に有効となるものです。

## 隠岐世界ジオパークの快適な利用に向けて！

世界ジオパークに認定された隠岐諸島では、来訪者が使いやすい自然公園施設となるように、遊歩道をはじめトイレや駐車場等の整備を進めています。特にトイレについては、バリアフリー化および水洗化のための再整備を進めると同時に、環境負荷が少ないシステムを採用しています。

山岳地や自然公園地域においてトイレを整備する場合の問題点は、電力供給や給排水を行うためのインフラ施設が整っていないことです。そこで、「自然回帰の森」の拠点となる中谷駐車場では、平成24年度のトイレ再整備により水洗化・バリアフリー化を行った際に、電力を確保するために太陽光発電装置を導入しました。

また、同トイレのし尿処理には、殆ど水を必要としない浄化システム（処理水再利用方式）を採用しました。これは、トイレの汚水を「土壌」の中に生息する無数の微

生物を用いて分解し浄化するシステムですが、この他に「カキ殻」、「杉チップ」、「活性炭」などを利用したものも開発されています。

このように隠岐世界ジオパークでは、利用者にとって快適で環境に優しい施設となるように整備を進めています。



中谷駐車場 公衆トイレ



トイレのバリアフリー化対応

# 自然保護関係表彰受賞者の紹介

## 鳥根県各種功労者表彰（鳥根県知事）

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 名古屋市 坂本 精志さん            | 野生動植物の保護繁殖や環境保全の調査研究に努めるとともに自然保護の普及に尽力                          |
| 隠岐の島町<br>白島、浄土ヶ浦を美しくする会 | 大山隠岐国立公園において、長年、公衆トイレや休憩所の清掃等利用者の快適な利用環境づくりに努めるなど、自然公園の美化・清掃に尽力 |

## 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰

- |            |   |
|------------|---|
| 邑南町 断魚開発組合 | 断魚溪において、美化清掃や登山道の整備、地域の小学校を対象とした自然解説に取り組むなど、自然環境の保全および普及啓発活動に尽力 |
|------------|---|

## 環境保全功労者等表彰（環境大臣）

- |              |  |
|--------------|--|
| 松江市 淀江 賢一郎さん | 鳥根県における鱗翅類研究のリーダー的存在として調査研究を行い、多くの論文、著作を発表するなど、学術研究活動に尽力 |
|--------------|--|

## 自然公園指導員表彰（環境省自然環境局長）

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 隠岐の島町 木谷 武彦さん | 自然公園指導員ほか |
|---------------|-----------|

## 自然歩道関係功労者（環境省自然局長）

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 大田市 河村 政経さん | 中国自然歩道石見銀山街道コースの維持管理に尽力 |
|-------------|-------------------------|

## 環境保全功労者知事感謝状

- |                |  |
|----------------|--|
| 出雲市 角森 哲朗さん    | 自然保護レンジャーほか  |
| 大田市 川上 敏明さん    | 三瓶自然館インタープリターほか  |
| 隠岐の島町 風待ち海道倶楽部 | 隠岐の自然環境保護のためのガイドブック、ルールブックの作成、外来種の駆除活動などを行うと共に自然環境資源の活用による地域振興に取り組む。また、平成20年からジオパーク活動を推進し、隠岐世界ジオパーク推進協議会の活動の基盤を構築した。 |

## 新任自然保護レンジャー研修会を開催しました



平成26年5月18日(日)国立三瓶青少年交流の家を会場に、新任の自然保護レンジャーの方々を対象とした研修会を開催しました。

自然保護レンジャーには現在163名の方を委嘱しており、その内、研修会には14名が参加され、自然環境課の職員により自然保護レンジャー、希少動植物について講義させていただきました。

また、環境省松江自然保護官事務所の丸山自然保護官から自然公園及び外来生物について、サヒメルの安藤研究員から「危険生物に出会った時の対処法」について講義いただいた後に青少年交流の家周辺で指定植物についてフィールドワークを行いました。

発行 鳥根県自然公園協会

〒690-8501鳥根県松江市殿町1番地 鳥根県自然環境課内 TEL0852-22-6377 FAX0852-26-2142